

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ルカ 5:8-10…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 180番
- *交読文 …………… 9番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 171番
- メッセージ …………… ふさわしくない者に三度声をかけ立たせて下さる主(ヨハネ 21:15-19)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …………… 179番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

イエスは___に言われた、「___よ、わたしを愛するか」。…
 「主よ、あなたはすべてをご存じです。___があなたを愛していることは、おわかりになっています」。イエスは___に言われた、「わたしの羊を養いなさい。…
 こう話してから、「わたしに従ってきなさい」と言われた。(ヨハネ 21:17-19)
 さあ、私達は主に帰ろう。主は___をかき裂かれたが、また癒し、___を打たれたが、また包んでくださるからだ。主は二日の後、___を生かし、三日目に___
 を立たせられる。___は御前で生きる。私達は主を知ろう、切に主を知ること求めよう。主は朝の光のように必ず現れ出で、冬の雨のように___に臨み、春の雨のように地を潤される。(ホセア 6:1-3)

弟子達は、弱く愚かだった。主であるイエス様の受難の時は裏切り、復活した後も、主から聖霊の息を息吹かれて「遣わします」と言われたのに出て行かず、元の仕事である漁師に戻ろうとした。主はそんな弟子達を怒ったり責めたりせず、かえって炭火焼きのパンと魚で迎え、愛によって身も心もほぐして下さった。

弟子達は主から聖霊の息吹を息吹かれ任命されたのに、なぜ、魚を捕る漁師に取返して戻ろうとしたのか。ペテロがイエス様と出会った最初に言った言葉にヒントがあるかもしれない。

「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です。」(ルカ 5:8) 本当は心から主が好きで、主からも、その働きからも離れたくないのに、そして主から「これをしなさい」と命じられたのに、取返して身を引いてしまうなら、その理由は大体、「自分は到底足りていない、主に相応しくない」という思いがある故だろう。人間社会では「します」と言って出来なかつたり、まして裏切ってしまった場合、責められたり断絶されたりして傷つき、ますます引き籠ってしまうが、ペテロは相当自分に失望し、傷ついていただろう。

イエス様は好きだ、ついて行きたい、3年半の間一緒にいて、本当に充実していたし、楽しかった。けれどイエス様と一緒にいる内に、到底イエス様に相応しい自分ではない、こんな弱く裏切ってしまった自分は足りていないのではないのか、自分はここにいないほうがいいのではないのか、いたら迷惑なのかな…。そのような思いがもしかすると彼にあって、主の働きからフェードアウトしようとしていたのかもしれない。主は、そんなペテロの心を、そして、そのような私達の心をも、主は全てを知っておられ、取り扱って下さる。

弟子達が主から炭火焼きのパンと魚を頂いて、食べ、心もお腹もほぐれた所で、主はペテロに言われた。「わたしをアガパオー(完全に愛し尽して)しているか？」ペテロはイエス様に、自分は「フィレオー(好きである、親愛の情を持っている)」している事を、あなたはご存じ(オイダー)です」と、答える外に無かった。

主よ、あなたをご存知です。あの鶏が鳴いた夜明けの晩、死ぬまでイエス様について行くつもりだった、躓かないつもりだった。けれども結局、あなたを知らないと言って躓いてしまった。自分で覚悟した通りには出来なかった。その躓いてしまった悲しみも、受けてしまった傷も、イエス様あなたは全部ご存知です…。

そんなペテロに、イエス様は『わたしの「小羊たち」を「食べさせ(ボスコー)」なさい』と言われた。イエス様はここで、「いや、アガパオーしなさい」とも「死ぬまでついて来なさい」とも言われなかった。

イエス様は二度目、「わたしをアガパオーしているか？」と、再び訊ねられた。ペテロは先と同様に答え、イエス様は『わたしの「羊たち」を「牧し(ポイマイノー:食べさせ、養い、治める)」なさい』と言われた。すなわち、一度目の時よりも、さらに「主の羊達」にたいする深い養いが要求されている。

主は、三度目、ペテロに言われた。「わたしをフィレオーしているか?」。ペテロは、主が三度目、「完全に愛し尽くしているか?」ではなく、「親愛の情を持っているか?」と聞かれたので、心を痛めた。主が自分の側へと降りて来て下さったのだ。完全に主を愛し切れない、従い尽くせない自分のレベルへと。『主よ、あなたは全てを「ご存じ(オイダー:主観的に知っている)」です。わたしがあなたを愛していることは、「おわかりになって(ギノスコー:経験して知っている)」います。』ペテロは、あなたはわたしを知っている、という点を、ただただ強調した。従えない弱さがある自分、裏切ってしまった自分、再びその可能性がある自分、そんな足りていない自分を悲しく思っている、けれども、それでもあなたは慕っている、という事を。

主は一貫して「わたしの羊」について指示されている。『わたしの「羊」を食べさせ(ボスコー)なさい。主が求めておられる事は、自分の過去の成り立ちや、弱さや、愛の無さはさておき、主の羊達を養う事なのだ。そして言われる。『あなたが若かった時には、自分で帯をしめて、思いのままに歩きまわっていた。しかし年をとってからは、自分の手をのばすことになろう。そして、ほかの人があなたに帯を結びつけ、行きたくない所へ連れて行くであろう。…こう話してから、「わたしに従ってきなさい」と言われた。』

働き人がもし、自分で自分を縛り、自分が描いたビジョンに生きるとするなら、それはまだ若造だという事であり、成熟した働き人は、聖霊に縛られ、自分が思っているのではない所へと導かれて行くものだ。人がもし自分を見、自分の力で生きるなら、必ず失望する。しかし主に依り頼むなら、決して失望はしない。

主は働き人がたとえ二度倒れても、三度、立たせてくださる。「さあ、私達は主に帰ろう。主は私達をかき裂かれたが、また癒し、私達を打たれたが、また包んでくださるからだ。主は二日の後、私達を生かし、三日目に私達を立たせられる。私達は御前で生きる。私達は主を知ろう、切に主を知ること求めよう。主は朝の光のように必ず現れ出で、冬の雨のように私達に臨み、春の雨のように地を潤される。」(ホセア 6:1-3)

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube